

2019年度 橋梁保全技術研修

診断評価コース（第6回） 受講者募集のご案内

名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

2019年度の橋梁保全技術研修 診断評価コース（第6回）を次のとおり実施しますのでご案内いたします。

なお、診断評価コースは、受講していただくにあたり、事前に橋梁長寿命化推進室が提示する技術的課題に解答していただきますので、ご了承の上お申し込み下さい。

1. 研修内容

橋梁維持管理業務に携わる技術者の方、橋梁維持管理実務を学びたい方などに適した上級コースで、橋梁構造物の劣化予測～性能の評価～対策判定及び対策工について学習します。受講者には名古屋大学より「診断評価コース修了証」が交付されます。

2. 受講資格

本研修の受講にあたっては、以下に示す **AまたはBのいずれかの資格が必要**です。

（一法人当たりの受講者数に制限を設けておりますのでご注意ください。詳しくは「6. 受講申込受付、締切」をご覧ください。）

A. 橋梁保全技術研修「検査点検コース」修了証取得後、「橋梁保全業務の実務経験」2年以上有すること。※対象者は**修了証番号 122001～162118**の検査点検コース修了証をお持ちの方で修了証取得後、**橋梁保全業務の実務経験 2年以上**の方です。修了証をご確認、ご用意の上お申込みください。

実務経験とは、橋梁保全業務を直接扱う機関（又は組織、セクション）に在した期間の暦月合計とする。橋梁保全業務とは、橋梁に関する巡回点検等の日常的管理、設計、設計監理、工事（発注、施工、監督、施工管理）及び研究・開発業務の内、維持管理に関する業務をいう。

B. 以下のいずれかの資格を有すること。（2019年度より一部変更）

1) 技術士（建設部門）

2) -1 国土交通省登録技術者資格（施設分野：橋梁（鋼橋）および橋梁（コンクリート橋）－業務：点検）

2) -2 国土交通省登録技術者資格（施設分野：橋梁（鋼橋）および橋梁（コンクリート橋）－業務：診断）

※「国土交通省登録技術者資格」とは、公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程（平成26年11月28日付け国土交通省告示第1107号）に基づき、国土交通大臣の登録を受けた資格をいう。

http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000098.html

2) -1、2) -2に該当する資格は次頁のとおりです。（39資格）

2) -1、2) -2 該当資格 (2019年4月1日現在)

No.	資格名称	事業名称
1	ふくしまME(基礎)	ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会
2	道路橋点検士	一般財団法人橋梁調査会
3	道路橋点検士補	
4	主任点検診断士	
5	点検診断士	一般財団法人阪神高速道路技術センター
6	都市道路構造物点検技術者	一般財団法人首都高速道路技術センター
7	構造物の補修・補強技士	一般社団法人リペア会
8	RCCM(鋼構造及びコンクリート)	一般社団法人建設コンサルタンツ協会
9	建造物保全上級技術者	一般社団法人国際建造物保全技術協会
10	建造物保全技術者	
11	一級構造物診断士	一般社団法人日本構造物診断技術協会
12	二級構造物診断士	
13	土木鋼構造診断士	一般社団法人日本鋼構造協会
14	土木鋼構造診断士補	
15	インフラ調査士 橋梁(コンクリート橋)	一般社団法人日本非破壊検査工業会
16	インフラ調査士 橋梁(鋼橋)	
17	高速道路点検士(土木)	公益財団法人高速道路調査会
18	高速道路点検診断士(土木)	
19	コンクリート構造診断士	公益社団法人プレストレストコンクリート工学会
20	プレストレストコンクリート技士	
21	上級土木技術者(鋼・コンクリート)コースA	公益社団法人土木学会
22	上級土木技術者(鋼・コンクリート)コースB	
23	上級土木技術者(橋梁)コースB	
24	1級土木技術者(鋼・コンクリート)コースA	
25	1級土木技術者(鋼・コンクリート)コースB	
26	1級土木技術者(橋梁)コースB	
27	コンクリート診断士	公益社団法人日本コンクリート工学会
28	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人愛媛大学
29	社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人岐阜大学
30	社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人山口大学
31	特定道守コース	国立大学法人長崎大学
32	特定道守(コンクリート構造)コース	
33	特定道守(鋼構造)コース	
34	道守コース	
35	道守補コース	
36	橋梁点検士	国立大学法人名古屋大学
37	土木設計技士	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会
38	橋梁点検技術者	舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター
39	ブリッジインスペクター	琉球大学工学部附属地域創生研究センター

3. 研修プログラム

≪第1日目≫

カリキュラム	講師	形態
診断の重要性と技術者倫理	名古屋大学	講義
構造物の診断(評価・判定)	岐阜大学	講義
実橋の劣化※希望者のみ	研修事務局	ニュー・ブリッジ
劣化予測～評価～判定 (RC 橋・PC 橋)	外部講師	講義
劣化予測～評価～判定 (鋼橋)	外部講師	講義

≪第2日目≫

カリキュラム	講師	形態
対策 (鋼橋)	外部講師	講義
対策 (RC 橋・PC 橋)	外部講師	講義
道路橋の維持管理全般 (橋梁構造物全般) 及び課題について班毎に討議・発表	外部講師	講義
道路橋の維持管理全般 (鋼橋の疲労きれつについて) 及び課題について班毎に討議・発表	外部講師	講義

(1) 都合により、カリキュラムが変更になる場合があります。

4. 技術的課題

研修受講にあたり、事前に取り組んでいただく技術的課題の取り組みがあります。詳細は受講決定後に通知いたします。

5. 期日、定員、開催場所

期 日	定員	場 所
2019年6月20日(木)、21日(金) (2日間)	約35名	名古屋大学 東山キャンパス (愛知県名古屋市千種区不老町)

(1) 受講時間は、9時～17時30分の予定です。

6. 受講申込受付、締切

(1) 受講申し込みは、受付期間中に Web サイトから行ってください。(先着順)

Web サイトの常設研修申込ページに開設される申込フォームから申込ください。

申込が完了しますと「申込完了のお知らせ」というメールが自動返信されます。受信されない場合は申込が完了しておりませんのでご注意ください。

https://www.n2u-bridge.jp/education/permanent_training/

(2) 受付開始：2019年4月15日(月)9:30開始

(3) 締 切：2019年4月22日(月)17:00まで

※申込フォームへの入力事項

① 氏名

② 性別

③ 勤務先(正式名称)

- ④ 書類送付住所
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 電話番号(つながりやすい番号を記してください。)
- ⑦ 受講資格の確認(検査点検コース修了後2年以上の橋梁保全に関する実務経験又は保有資格※部門を問う資格がありますので、ご注意ください。)
- ⑧ 検査点検コース修了証番号(実務経験でお申込みの場合のみ)
- ⑨ 実務経験(略歴を記入。検査点検コース修了後の橋梁保全業務実務経験2年以上で受講される方は、業務内容が確認できるようご記入ください。例:2000年〇×(株)入社×部 2010年より〇業務4年 現在に至る)

入力漏れや受講資格が確認できない場合、Web 受付完了後でも受講をお断りすることがあります。

- ※ 終日受付いたしますが、初日は9:30から開始し、最終日は17:00で締め切ります。
- ※ 受講申込みは先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。
- ※ **受講者数は、一法人(会社、団体、行政機関等)4名までとし、超過した応募者は受講をお断りさせていただきます場合がございますのでご了承下さい。**

(4) 受講が決まった方には

- ① 応募締切から10日程度で受講料払込用紙(納入依頼書)、受講申込書類を郵送します。10日を過ぎても書類が届かない場合はご連絡ください。
- ② ①でお送りした納入依頼書から指定期日までに受講料をお支払いください。振込手数料はご負担ください。納入依頼書に付属の払込受領書もしくは金融機関発行の受領書を受け取って下さい。
- ③ 「受講申込書」に必要事項を記入の上、②の「払込受領書」(コピー)を貼り付けて郵送してください。また、保有資格のコピーもしくは実務経験証明書(様式は添付)を添付の上郵送してください。
- ④ 「受講申込書」受理後、「受講票」、「手引き」を郵送いたします。
- ⑤ 事前課題は、応募締切後、メールにて送信します。要項のとおり解答の上、期日までに提出してください。

7. 受講料 20,000 円(税込) ※振込手数料はご負担下さい。

(受講者の都合で受講を取り消す場合など、納付済みの受講料は返還しません。)

8. 荒天の場合について

荒天などによる研修の中止判断は名古屋大学の規定に準じます。

暴風警報(名古屋市)が6:45まで解除されない場合は研修を中止します。中止となる場合、その後の対応については、別途ご案内いたします。不明の場合は当室Webサイトか7:00以降に携帯(090-6760-6322)へご連絡ください。

9. 個人情報の取扱いについて

お預かりした個人情報は、「名古屋大学個人情報保護規程」に従い、適切に管理し、定められた利用目的の範囲を超えて利用及び提供はいたしません。ただし、本人の了承・同意がある場合や、法令に基づく場合は除きます。

◆今後の研修・判定試験のスケジュール◆

※期日などは変更する場合があります。HPの最新情報をご覧ください。

※受付期間は会期の2ヶ月程前にHPにご案内します。また、メールニュース配信もいたします（配信登録者）。

(1) 基礎コース（2日間）

		期日	定員
第15回	A日程	2019年7月30日(火)、31日(水)	7月31日(水)(講義)約60名 7月30日(火)、8月1日(木) (実習)約30名
	B日程	2019年7月31日(水)、8月1日(木)	
第16回	A日程	2019年9月18日(水)、19日(木)	9月19日(木)(講義)約60名 9月18日(水)、9月20日(金) (実習)約30名
	B日程	2019年9月19日(木)、20日(金)	

※1日目の講義は、A日程およびB日程と合同で開催します。

(2) 検査点検コース（3日間）

	期日	定員
第35回	2019年 5月 21日(火)～23日(木)	約21名
第36回	2019年 7月 17日(水)～19日(金)	約21名
第37回	2019年 10月 16日(水)～18日(金)	約21名
第38回	2019年 11月 19日(火)～21日(木)	約21名
第39回	2019年 12月 10日(火)～12日(木)	約21名

(3) 診断評価コース（2日間）

	期日	定員
第6回※本研修	2019年6月20日(木)～21日(金)	約35名

(4) 橋梁点検士判定試験および橋梁診断士判定試験

2019年8月25日(日)

※受験に際し、修了証には有効期限（3年）があります。

※詳しくは当室HPをご覧ください。

《お問い合わせ》

名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 橋梁長寿命化推進室

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 工学部9号館 4F 9-429

電話&FAX：052-789-3726 E-mail：N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp

HP：https://www.n2u-bridge.jp/

2019年4月